

### 今回のワークショップで出た意見を元に投稿したパブリックコメント

#### <意見 1>

- ・(該当する) 目次

#### 第 4 章 宇宙基本計画に基づく施策の推進

##### (2) 施策の進捗状況のフォローアップと公表

- ・(提出した) 意見

今後進められる宇宙開発の広報活動に、より積極的に取り組んでいただきたいです。

現状では、よほど熱心に情報を集めようとする人でない限り、「現在どのような計画になっているのか」、「何に予算が配分されようとしているのか」、そもそも「パブリックコメントが募集されているか否か」を知ることはできません。

もちろん、安全保障の観点から全ての計画を明らかにできないこともあると思いますが、国民の理解を得るためにも、「予算の数%は広報のために使用する」「専門家、国民の双方の視点に立った広報活動を行なう」など、国民に開かれた宇宙開発であって欲しいと思います。

\*なお、本意見は、12月19日に、京都大学吉田泉殿にて開催した「パブコメワークショップ：これからの宇宙の「使い方」を考える」に参加した14名の意見を集約したものです。

#### <意見 2>

- ・(該当する) 目次

#### 第 4 章 宇宙基本計画に基づく施策の推進

- ・(提出した) 意見

宇宙太陽光発電の実現に向かって具体的な検討を行なう前には、安全性やリスクをきちんと見積もる努力をする必要があると思います。例えば、そのために、リスクコミュニケーションやテクノロジーアセスメントに関する取組を始めていただけないでしょうか。

## PESTI イベントレポート

宇宙太陽光発電は、新しいエネルギー源として期待されているということは十分に理解できますし、期待したいとも思っています。ただ、本当に安全なのかどうか心配です。この技術を導入することによって、何にどれほど影響があるのでしょうか。人体に、もしくは、地球環境に、何かしらの悪影響が及ぶことはあるのでしょうか。将来、どのようなことが起こるか分からない中でのリスクとそこから得られるメリットとをきちんと推し量った上で、開発を進めていただきたいと思います。

\*なお、本意見は、12月19日に、京都大学吉田泉殿にて開催した「パブコメワークショップ：これからの宇宙の「使い方」を考える」に参加した14名の意見を集約したものです。

### <意見3>

・(該当する) 目次

第4章 宇宙基本計画に基づく施策の推進

・(提出した) 意見

安全保障の予算を増額するために、基礎科学の予算を削減することは避けたい  
だと思います。安全保障の予算を増額するのであれば、宇宙開発関連  
予算全体の増額等を検討していただけないでしょうか。

近年の情勢を考えると、安全保障関連の予算が増額される方向になることは理解できます。そこで疑問になるのは、そのためにその他の宇宙関連の予算が減らされることになるのかということです。仮に、安全保障関連の予算の増額が必須の場合には、宇宙開発関連予算全体の予算の額を増やすという考えにはならないのでしょうか。

\*なお、本意見は、12月19日に、京都大学吉田泉殿にて開催した「パブコメワークショップ：これからの宇宙の「使い方」を考える」に参加した14名の意見を集約したものです。

## PESTI イベントレポート

### <意見4>

- ・(該当する) 目次

#### 2-4. 我が国の宇宙開発利用に関する6つの基本理念

##### (4) 人類社会の発展

- ・(提出した) 意見

基礎科学の推進も重要だと思われます。

50年前、100年前の科学分野での発見が今の社会で重要な役割を果たしています。したがって、目先の利益だけで判断をするのではなく、長期スパンで防災やエネルギーのことも考えて投資すべきであると思います。

科学の進歩によって、「技術」や「利益」といったように投資の結果が具体的にみえる形で現れることもありますが、「新しい視点」「新しい概念」のように概念的なモノを得られることもあるはずである。

\*なお、本意見は、12月19日に、京都大学吉田泉殿にて開催した「パブコメワークショップ：これからの宇宙の「使い方」を考える」に参加した14名の意見を集約したものです。

### <意見5>

- ・(該当する) 目次

#### 第3章 宇宙開発利用に関し政府が総合的かつ計画的に実施すべき施策

##### 3-3. 宇宙空間の戦略的な開発・利用を推進するための8つの横断的施策

##### (6) 宇宙開発利用を支える人材育成と宇宙教育の推進

- ・(提出した) 意見

現行の宇宙基本計画に含まれている「国民参加」に関わる内容の継続をお願いいたします。

現行の宇宙基本計画の中には、「国民参加型のコンテスト」「宇宙利用の拡大方策等、宇宙政策や宇宙開発利用に幅広く国民の叡智を求める工夫」「寄付その他幅広くサポートを得る工夫」という内容が含まれていました。

## PESTI イベントレポート

平成 23 年 8 月に閣議決定された第四期科学技術基本計画の中にも、「社会とともに創り進める政策の展開」という章があるように、「国民参加」のコンセプトは宇宙政策を進める上でも重要な観点であると考えられます。また、震災以降低下している専門家の信頼を再構築する上でも重要だと思えます。

ただし、「国民参加」といっても、人気投票のような日和見的な判断で予算の配分などが決まる、などということは望ましくない状態だと考えています。

現行の宇宙基本計画にも書かれている「国民参加型のコンテスト」「宇宙利用の拡大方策等、宇宙政策や宇宙開発利用に幅広く国民の叡智を求める工夫」「寄付その他幅広くサポートを得る工夫」等の施策が継続され、私たち一般市民が宇宙政策に対してより深く理解し、関与できる機会が増えることを希望します。

\*なお、本意見は、12 月 19 日に、京都大学吉田泉殿にて開催した「パブコメワークショップ：これからの宇宙の「使い方」を考える」に参加した 14 名の意見を集約したものです。

### <意見 6 >

・(該当する) 目次

3-4. 宇宙関連施策を効率的・効果的に推進する方策の在り方

(2) 民間活力の活用

・(提出した) 意見

宇宙開発の過程で、日本の得意分野である“ものづくり”を活かした地域振興を実現してください。

日本の強みは“ものづくり”といわれています。日本の“ものづくり”を支える地域の町工場や職人がもっと注目されるような機会があってもいいのではないのでしょうか。宇宙開発と地域の振興が両立するような方向性を強調してほしいと思います。

\*なお、本意見は、12 月 19 日に、京都大学吉田泉殿にて開催した「パブコメワークショップ：これからの宇宙の「使い方」を考える」に参加した 14 名の意見を集約したものです。